

2026 年 1 月 25 日

## 愛知・名古屋 2026 アジアパラゲームズ

### 競泳競技日本代表推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟 (JSFP)

(一社) 日本パラ水泳連盟 (JPSF)

---

#### 日本代表推薦方針

1. 競泳競技日本代表選手団は、日本パラリンピック委員会（以下「JPC」という）の定める日本選手団編成方針「日本代表選手団は、パラリンピックムーブメントの推進に寄与するとともに、社会規範を遵守し、公平性、誠実性、協調性に基づき行動できる選手・スタッフを持って編成する」に基づき、メダル獲得の可能性が高い選手やロサンゼルス 2028、ブリスベン 2032 など今後のパラリンピックにつながる選手を推薦する。
2. 選考にあたっては、2026 年 5 月 31 日開催予定の愛知・名古屋 2026 アジアパラ競泳競技日本代表選手選考委員会（以下「選考委員会」という）が選考し、JPSF 登録選手は日本パラ水泳連盟の運営委員会、JSFP 登録選手は日本知的障害者水泳連盟の常務理事会の承認を経て、JPC へ推薦する。

---

#### 推薦選考基準

この基準は、知的・身体あわせて、日本代表推薦選手としての選考基準である

1. 愛知・名古屋 2026 アジアパラゲームズ競泳競技の Asian Paralympic Committee（以下「APC」という）参加要件、及び JPC が定める日本代表選手団の編成方針を満たし、当該連盟が定めた推薦基準を満たすもの。
2. 推薦基準
  - (1) 2026 年 5 月開催予定の『WPS ワールドシリーズ富士・静岡（以下「選考会」という）』に出場しており、その記録を選考の対象記録とする。
  - (2) 次の参加要件を満たしているもの。
    - ① 2026 年シーズンに有効な WPS アスリートライセンスを保持していること。
    - ② 国際クラス分けのステイタスが”Confirmed (C)”、または”Fixed Date Review (FDR)”で見直し指定期が 2027 年またはそれ以降（注 1）、であること。
    - ③ 選考会において MQS を達成していること。

（注 1）VI（視覚障害）については選考会でのクラス分けが実施されないため、②を満たしていない選手が推薦される場合がある。その場合、アジアパラ本番で参加要件を満たすための国際クラス分けを受検する事となる。また、PI（肢体不自由）、II（知的障害）については、選

考会までに当該連盟が定めたクラス分けを受検する優先順位リストに入っており、選考会でクラス分けを受検し参加要件を満たす必要がある。

- (3) 各連盟の推薦独自基準を満たしているもの。
- (4) JPC から競泳競技に与えられた参加枠（注 2）の範囲内とする。身体知的の配分枠数については、JPC の算出根拠に基づき参加枠を配分する。ただし、推薦基準に該当する選手が配分された参加枠数に満たない場合は、両連盟で参加枠を融通し合う場合がある。

（注 2）2026 年 1 月 25 日現在、参加枠が公表されていないため、公表され次第両連盟 HP で公表する。

- (5) 補欠は選考しない。
- (6) JPC の定める自己管理や医学的観点を満たせるもの、並びに当該連盟の定める強化指定選手等行動規範等を遵守できる選手であること。
- (7) 推薦選手として公表の時期は、選考会終了日以降に速やかに決定し、各連盟のホームページで公表する。

以上